大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

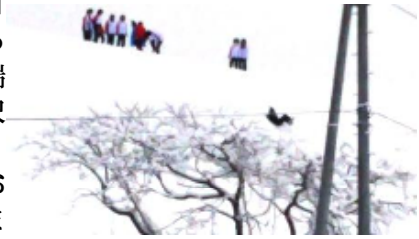
平成２９年度　学校通信

平成３０年３月１日

No.３８

雪国を楽しむ

ようやく豪雪が収まったかに見えた２月23日の夜も少し湿った雪が、それこそボタボタと降ってきました。「まだ降るのかあ」という心境でした。



その翌日24日の朝、登校すると、野球場の端にたつ人影が沢山。車を止め、見上げると、「おはようございま～す！」の元気な明るい声。

冬に鍛える。雪国を楽しむ。

こんな前向きな発想と行動が、自分を、周囲の人を、また地域を元気にするのではないか。寒い朝も、温かくなりました。嬉しくなりました。たくましいなあ。

ちなみに本校の体力テストの結果は、県の平均を上回る望ましい結果でした。

東北バドミントン強化大会

２月24日・25日は、東北中学生バドミントン交流強化大会が、岩手県奥州市で行われ、本校バドミントン部も参加しました。

東北各県の強豪チームによる交流強化大会であり、夏の総合体育大会を見据えた大会でもあります。今回、男子チームは待望の１勝をあげることができ、また女子チームも３勝しました。特に、男子は中学校入学から競技を始めた部員の健闘が光りました。お疲れ様でした。

大仙市スポーツ賞受賞

２月24日には、大仙市体育協会主催の「平成29年度大仙市スポーツ賞」の表彰式がありました。

これは、スポーツにおいて顕著な活躍・成果の見られた選手や団体を表彰する賞ですが、本校からは、空手道で２年生の佐藤さん、バドミントンで同じく２年生の伊藤さん姉妹が奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。

ちなみに、本校出身者では、宮城県明成高校のバスケットボール部員で全国優勝をした３年生本間君が栄光賞、そして、秋田北高校のソフトテニス部員で全県優勝をした３年生小笠原さん、大曲高校陸上競技部で活躍している２年生斎藤さん、大曲農業高校なぎなた部の２年生田村さんと同じく２年生俵谷さん、新屋高校バドミントン部の２年生伊藤さん、角館高校３年生髙橋君もバドミントン部員として奨励賞を受賞しています。おめでとうございます。後輩の励みになります。

生徒会　大綱保存会に寄付

２月26日、生徒会三役が刈和野大綱保存会に、事務局のある西仙北中央公民館で、些少ながら寄付をいたしました。

この寄付金は、10日の大綱引き当日に、ＨＵＢスペースを拠点に行った「大綱案内人」のボランティア活動において、お土産用に作成したオリジナルの手作り缶バッジの収益金の一部です。田中先生がデザインした缶バッジを、当日参加したボランティアメンバーが作製して、刈和野の大綱引きのお土産にと、あの雨の中、売り歩いた収益金です。

五百余年の伝統を引き継ぐ大綱引きですが、その伝統継承のたいへんさ、難しさを、綱よいや綱のばしの体験学習や、保存会の会長及び建元さんたちによる大綱講演会、自分たちの調べ学習等で、生徒たちは知っており、今回の収益金を届けたいという想いでした。

26日は、大綱保存会の高橋会長をはじめ今野副会長、二日町と五日町の建元の皆さんが寸志を受けてくださいました。加藤生徒会長が、「お土産用に作製した缶バッジの収益の一部です。少しですが、保存活動に活用してください。」と手渡すと、高橋会長からは、「ありがとうございます。大切に使わせてもらいます。」と感謝の言葉がありました。その上で、まだ缶バッジがあるのであれば、ぜひ、ユメリアでお土産品にしたい旨の申し出もありました。また、少し、地域貢献ができた実感をもつことができた生徒会でした。

今年度最後のPTA授業参観

２月27日、今年度最後のＰＴＡ授業参観が行われました。各学年ともに、１年間の総合的な学習の時間の学習成果をまとめて発表した時間でした。

１年生は、「ふるさと西仙北の行事やよさを受け継いでいくために」のテーマのもと、白神体験学習や大綱講演会等の学習を踏まえた発表でした。

２年生は、「これからの私、これからの西仙北」のテーマのもと、上級学校訪問や秋田市の観光名所等の訪問を踏まえた発表でした。

３年生は、「西仙北地域活性化プロジェクト」について、修学旅行先の東京での訪問先と西仙北地域との比較等による提案で、昨年11月の発表に続く内容でした。どの学年も「地域と共に」ある学校の実践でもありました。

その後、各学年とも学年部会を開き、これまでの学校生活や学習の状況、また春休み等の生活について話し合われました。特に、スマホや携帯、通信機器の活用について、ＷＨＯでは「ゲーム依存」で過剰な使用に基づく悪影響が出る症状を病気と診断するということなども話題になりました。また、３年生は一般入学試験等の最終確認がされました。

いよいよ本日からは三月春弥生、高校の卒業式が始まります。

吹奏楽部ソロコンサート

ＰＴＡ授業参観日のあった27日、各学年部会の後に、吹奏楽部の１・２年生による恒例のソロコンサートが開かれました。

それぞれの楽器を用いたソロコンサートは、たいへん緊張するようですが、23名の部員がそれぞれ練習の成果を披露しました。顧問の藤澤先生が作成したプログラムには、「カノン」や「川の流れのように」「一週間」「見上げてごらん夜の星を」「トロイメライ」等々のバラエティ溢れる曲の紹介と聞き所が記されていて、魅力あるコンサートになりました。

吹奏楽部員の皆さん、お疲れ様でした。楽しいひとときをありがとうございました。

刈和野大綱引き短歌会入賞

第八回刈和野大綱引き「小学生・中学生・高校生」短歌会の入賞作品が発表されました。

全二百三十五首中、中学生の部の特選は本校一年生の次の四首でした。

「鳴り響く太鼓の音に息合わせ
　　一つに合わさる上　下の綱」　山崎
「雨の夜通りをうめた人たちが力を出し切り
　　大綱を引く」　高橋
「大綱引き五百年の伝統を今年も受けつぎ
　　ジョヤーサノー」　佐々木
「綱作りみんなで作った思い出は
　　ずっと心に残っていくよ」　澤田

この他に、十二首が入選、八首が佳作でした。おめでとうございます。

選者は、日本歌人クラブ秋田県委員で現代歌人協会会員で、「かりん秋田」を主宰している菅原先生です。講評は次のとおりでした。

建元のこと、大綱太鼓のこと、綱作りに協力したこと、雨の中の引き合いなどの具体的で自分のいる作品は、読む人の気持ちを動かします。また、「かまくらのあかり」、「夜の光」などから感じたことを詠むことで、詩情ができたことにも感銘しました。短歌は「喜怒哀楽の情」をうたうといわれます。つまり，感動したことを表現することです。郷土愛に満ちたすばらしい作品をありがとうございました。

神岡FC　東北電力杯優勝！

２月３日に大曲体育館で行われた「第１回東北電力杯争奪フットサル大会」において、神岡ＦＣジュニアユースが見事優勝しました。このクラブに籍を置き活躍した本校生徒の５名が報告に来てくれました。

メンバーは、２年生の吉田君、佐原君、１年生の太田君、後藤君、鈴木君で、後藤君は優秀選手賞も受賞したそうです。おめでとうございます。

今後もますますの活躍を期待します。